

妙智會

10月12日開教記念式典
本殿大講堂(ライブ配信)
宮本法嗣先生ご指導

Vol. 76
2022. 10. 22
1/2

本日10月12日は、妙智會が開教されて72周年、ありがとうインターナショナルが設立されて32周年でございます。

この開教記念の日に、皆さまと共に声を出してご供養をさせて頂きました事は大きなご順序であります。

諸佛諸天善神、大恩師さま、会主さま、大導師さま、女先生、そして皆さまのご先祖さまに心から感謝を申し上げます。ありがとうございます。

また、今もまだウクライナ紛争が続いておりますが、さらに念願をさせて頂きますので、皆さまも一緒に念願をして頂きたいと思っております。

以前、会主さまの開教宣言を読ませて頂き、とても大きな決意を持たれたと思い、それを会主さまにお伺いしたことがあります。

会主さまは「言葉に述べるということ事が大切です。決意や決意は言葉に述べたから通せるのです。開教宣言は妙智會のこれからの事を思って口に出して述べたのです。口に出して述べたという事は霊界に通じる事ですので、しっかりとやらなければならない」とお話をくださいました。

私は「言葉」というのはとても大切なんだと頂戴しました。

その後も会主さまは言葉について「言葉というのはよく気を付

けながら使いなさい。言ってはいけない事を言ってしまうと【言の刃】と言って相手に突き刺さって、その傷は治らないのです」と仰っていた事があります。

その反対に、優しい言葉【愛語】は相手を包み、喜ばすことになる、相手の状況が良くなる一つのきっかけになるのです。

そして、言葉の奥には品位と品格を持つことがとても肝要です。

会主さまから「先祖供養を徹底し、祈りをするという事が、人間の品位と品格を上げののです」と教えて頂いております。

大導師さまは「沈黙も言葉です」と仰っていたことがあります。

言わなくても良いことを言ってしまうという事があるかと思いますが、黙っているということも品格のある言葉なのです。

妙智會は【人格完成に努力する】と掲げております。

私たちが一番人格完成に努力すべきことは、言葉なのです。

是非この開教の日に、ご自身の言葉を振り返って、直すべき所は直し、お経を上げて、祈りを持った心で言葉を使ってください。

最後に、職員もこの修行を第一としてさせていただきます。

今日まで品位のない言葉で皆さんに対して傷つけてしまった事が多々あるかと思います。

必ず職員を改めさせていただきますことを、この開教の日に皆さまへ申し上げます。